

ブックレビュー 3

『陸軍中野学校』

「秘密工作員」養成機関の実像

著者 山本武利
筑摩選書 / 1700円

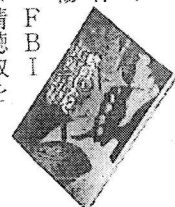
やまもと・たけとし / 40年生
まれ。早稲田大学および一橋
大学名誉教授。NPO法人イ
ンテリジェンス研究所理事長

特選ミステリー

評者 / 関口苑生 文芸評論家

事件の奇妙な美しさ

物語は、両手



に火傷を負い体
のあちこちに傷
がある女性が、FBI
特別捜査官に事情聴取を
受ける場面から始まる。病
院には手当てを受けている
若い女性が、まだ10人以上
いるという。

彼女たちは（庭師）と呼
ばれる男に拉致されていた
のだった。ドット・ハチン
ン『蝶のいた庭』（辻早苗訳）
は、奇妙な美しさのある不
思議な小説だ。彼女たちの
身に一体何があったのか。

聴取を受ける女性の口から
語られる凄まじい過去と、
軟禁されていた日々の模様
は、何ともグロテスクでお
ぞましいが、一瞬たりとも
目が離せない魅力に満ちて
いる。

完全密室、完全防音され
た温室の中で、女性たちは
蝶のごとく飼われていたの
だ。それはまさに、美しき
地獄であった。

創元推理文庫 / 1200円

工作員を養成した 特殊機関の 「不都合」な 実像を追う

評者 中田整一
ノンフィクション
作家

「陸軍中野学校」でふと
思った。八二年前の二月
に起こった二・二六事件。
この時、戒嚴司令部は青
年将校ら叛乱軍の電話を
秘かに盗聴し、参謀本部
が開発した新兵器の録音
機で録音を行った。電話
傍受に携わった濱田萬
工兵大尉らは、二年後に
陸軍中野学校の前身「防
謀研究所」の教官となる。
通信の秘密を盗むノウハ
ウが、二・二六事件を契
機に陸軍の間の機関に持
ち込まれたのだ。

本書は陸軍中野学校の
創成から末路まで、極めて
日本的な特質をもつ秘密
工作員の養成機関の実像

を追う労作だ。日本は終

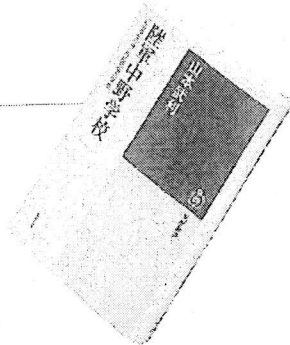
戦時に機密文書を徹底的
に焼却した。従って情報
機関の核心に迫る調査は
容易ではない。著者は自

らの発掘公文
書と関連資料
を渉猟して、

中野学校の歴
史的な変遷と
意義を検証し
全貌に迫った。

中野学校の
卒業生は静岡

県二俣分校所も含めて二
三〇〇名余。東南アジア
や中国、満州では対ソ戦
に暗躍し、戦後シベリア
抑留の悲劇も生んだ。陰
の世界に生きる軍人には



表立った論功行賞はな
い。先の濱田大尉もその
後、心ならずも上海での
特務機関員を命じられ、
戦中、戦後の苦渋の人生
を送った。

一九三八年、「防謀研
究所」の名で発した中
野学校の第一期生は一八
名。創設者の岩畔豪雄、
秋草俊らの科学的な諜報

機関をめざす教育は、自
由闊達、教養主義の雰圍
気もあり、語学重視、作
曲家の山田耕柞がフラン
ス事情の特別講義に来て
いたというのも驚きだ。

だが、切迫する戦局に翻
弄された終盤は人材育成
も利那的で、戦域ではス
パイ映画もどきの酒と女
の話題も尽きない。先の
戦争の敗因に組織の不統
一、情報軽視がある。

本書を読み終えて思っ
たのは、日本にはなぜ国
が一元的に統率する情報
機関は生まれなかったの
か。敵国アメリカは、陸
海軍を統べる大統領直属
の統合参謀本部のもと、
捕虜利用の対日、対独の
秘密尋問所を設けた。捕
虜から得た情報を戦略と
作戦に最大限に利用し
た。B-129による日本全
土の精密爆撃が一例だ。
本書が歴史の空白部分を
埋めた意義は大きい。

なかつ・せいいち / 41年生ま
れ。NHK等を経て執筆活動
に。「トレイシー」(四月七日
の桜)、「ドクター・ハック」(他